

単元や題材など内容や時間まとめを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第5学年

【単元名】 面積 (12時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
B (3) ア (ア) 三角形, 平行四辺形, ひし形, 台形の面積の計算による求め方について理解すること。	B (3) イ (ア) 図形を構成する要素などに着目して, 基本図形の面積の求め方を見いだすとともに, その表現を振り返り, 簡潔かつ的確な表現に高め, 公式として導くこと。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり: 「どんなもようができるかな」「長い長さ」「重い重さ」(3年)「面積」(4年)

働かせる見方・考え方: 図形を構成する要素などに着目し, 既習の図形の面積の求め方を基に考えること

段階	学習活動 (時間)	留意点
導入	1 いろいろな形の池の広さを比べて小さい順に並べ, 単元の目標を見いだす (1)	<p style="text-align: center;"><b>学習内容の動機付けをする場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広さの違いに着目し, 面積の求め方について考えていこうという興味・関心をもつことができるようにする。</li> <li>・切った図形を配布し, 方眼を数える, 図形を重ねるなど, 自分なりの方法で広さを比べられるようにする。</li> <li>・求積が可能な図形から求めていこうという意識をもつことができるようにする。</li> </ul>
	三角形や四角形の面積の求め方を考えていこう	
知識問題・解法技能を通過し学ぶ	2 直角三角形, 三角形の面積の求め方を考え, 面積を求める公式を見いだす (3)	<p style="text-align: center;"><b>知識・技能を習得し, 活用する場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それまでに考えた面積の求め方や公式を教室に掲示して, 自分の考えをもつ手がかりにできるようにする。</li> <li>・図にかき込んだり, 具体物を操作したりして考えられるように工夫する。</li> <li>・自分の考えを伝えながら, 友と式を考え合ったり, いろいろな考え方から共通部分を見つけていったりできるようにする。</li> <li>・考えを比較しながら, もとの図形のどこの長さに着目すると面積を求めることができるのかを振り返って考え, 公式を見いだすことができるようにする。</li> </ul>
	3 平行四辺形, 台形, ひし形, 四角形の面積の求め方を考え, 面積を求める公式を見いだす (6)	
	4 三角形の高さや底辺を変えたときの面積との関係を調べる (1)	
学びを振り返る	5 単元の学習内容を確認し, 三角形・四角形の面積の求め方をまとめる (1)	<p style="text-align: center;"><b>自分の学びを振り返る場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入で扱った問題で, 公式を使って数値で面積を表すことで小さい順に並べられるようになったことを実感することができるようにする。</li> <li>・それぞれの求め方はすべて長方形に結び付いていることに着目し, 三角形・四角形の面積の求め方をまとめることができるようにする。</li> </ul>

次単元へのつながり: 「箱の形を調べよう」(6年)